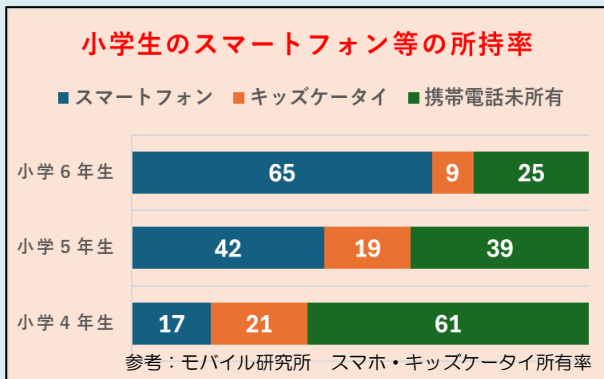


栄 さかえ小 ニュースレター

インターネット等の利用状況

近年、インターネット環境の普及に伴い、SNSがらみのトラブルが増えています。そこで、今回は小学生のインターネットの利用状況等について書いてみたいと思います。

さて、スマートフォン等を所持する小学生の割合は年々増えていますが、モバイル社会研究所が令和6年1月に公表した資料を見ると、スマートフォンの所持率は小学校高学年から特に高くなる傾向があり、小学6年生では**約65%が所持**しているそうです。また、こども家庭庁が令和6年2月に公表した「令和5年度青少年のインターネット利用環境実態調査」では、年齢が上がるにつれてインターネットの利用者が増え、小学生（10～12歳）の**利用率は98.2%**でした。また、平日1日あたりのインターネット**平均利用時間は約3時間46分**で、**1日5時間以上利用している小学生も24.1%**いました。さらに、小学生のインターネットの利用内容としては、動画を見るが一番多く**90.5%**、次にゲームをするが**87.5%**でした。



小学生（10歳～12歳）・中学生のインターネット利用内容

内容	小学生	中学生
投稿やメッセージ交換	46.5%	76.1%
検索	72.8%	85.5%
音楽を聴く	50.7%	79.9%
動画を観る	90.5%	94.1%
マンガを読む	9.6%	31.5%
ゲームをする	87.5%	87.5%
勉強する	67.3%	73.1%

参考：こども家庭庁 令和5年度青少年のインターネット利用環境実態調査

小学生のインターネット利用時間【平日1日あたりの平均利用時間：約3時間46分】

わからない	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上 6時間未満	6時間以上 7時間未満	7時間以上
3.0%	6.8%	13.7%	19.2%	18.7%	14.5%	9.0%	6.2%	8.9%

参考：こども家庭庁 令和5年度青少年のインターネット利用環境実態調査

このような普及の背景には、保護者の連絡手段としてのニーズ、情報化社会に適応する必要性、コミュニケーションツールとして便利さ等が挙げられるかと思えます。しかし、その一方でスマートフォンやSNSの利用は予期せぬ危険に遭遇する可能性もあります。具体的な例としては、①SNS上で**個人情報を無意識に公開**してしまう（日常の投稿に学校名や自宅周辺の特徴が写り込んでしまい、第三者に**個人情報が特定**されるケースがある）、②**不適切な発言**（誤解を生む発言、無意識に相手を傷つけてしまうコメントなど）がもとで友達とのトラブルやいじめに発展する、③**不適切なコンテンツへのアクセス**や見知らぬ相手からの接触で**事件・事故**に巻き込まれる、などが考えられます。また、スマートフォンの長時間利用は、①**目の疲れや視力の低下**、②**睡眠障害**、③**姿勢の悪化や肩こり・頭痛**といった**身体的不調**、④**精神的ストレス**、などの健康被害をもたらすこともあります。

そこで、ご家庭では、スマートフォンやSNSの使い方について、お子さんと定期的に話をしてほしいと思います。

【家庭で取り組めること】

1 利用時間や使用場所を制限する

- 「一日に○時間まで」「使う時は必ずリビングルームで」といように約束ごとを決めることが大切です。また、睡眠への影響を避けるため、**就寝の2時間前には使用しない**ようにするのが理想です。

2 利用状況を把握する

- アクセスする情報に不適切なものが含まれていないかチェックしたり、フィルタリング機能を活用して制限したりすることが重要です。また、お子さんが誰と繋がっているのか把握しておくことも大切です。

3 SNS上のマナーや危険性を伝える

- 実名や写真、住所といった個人情報を安易に公開しない、知らない人からの連絡に返事をしない、誹謗中傷など他人を傷つける投稿は絶対にしないことが大切です。

4 困ったときの相談先

- 何か困ったことがあったときは、すぐに親や学校に相談するように伝えてください。